

高等部

題材・教材名【カラーハンド】領域・教科【日常生活の指導】

ねらい

- ① 手指の巧緻性を高めることができる。
- ② ボタンの付け外しやひも結びなど、指先を使った動作をスムーズに行うことができるようになる。
- ③ 集中力や目と手の協応力を高める。

写真



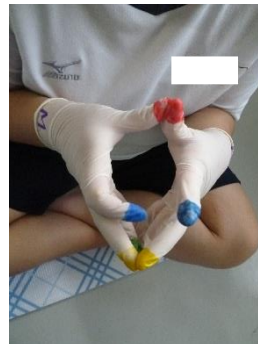
A 手袋バージョン



B 指先バージョン

教材使用方法・手順

- ① 2セットあるゴム手袋の同じ指の部分に同じ色を塗る（指サックの場合は、左右に付けられるように同じ色の指サックを二つ作り、4色分準備する）。
- ② 手にはめる（指サックの場合は、左右同じ色になるように付ける）。
- ③ 同じ色の指をくっつけてから始める。



児童・生徒の様子など

- ・手袋なしで行ったときは、別の指をくっつけてしまったり、手を組んでしまったりと、なかなか同じ指先をくっつける基本の形を作ることが難しい生徒が多かった。しかし、カラーハンドを付けることで、指を合わせる場所が分かり、基本の形を作ることができた。
- ・色を意識することで、動かさない指も意識できるようになり、指を動かしているとき、他の指同士が離れなくなってきた。
- ・カラーハンドを付けても基本の形を作ることができない生徒には、手のひらにテニスボール程度の大きさのボールを挟むことで基本の形を作ることができ、指を動かしやすくなった。
- ・指先に色を付けることで、動かす指と動かさない指を意識することができ、細かい指の動きができるようになってきた。